広報 おおくら
平成28/4 No.680

幻想的な春霞（はるがすみ）の大花火
―おおくら雪ものがたり―

―主な内容―

02 ｜ 平成28年度施政方針
04 ｜ 平成28年度当初予算
06 ｜ 自治功労者表彰
10 ｜ 大蔵村総合戦略策定
12 ｜ 人事異動と職員執行体制

総合戦略の実施と住民福祉の向上を

平成28年度 施政方針

村議会3月定例会で、本年度の村政の基本となる平成28年度施政方針が村長より示されました。

その趣旨について掲載します。

はじめに

国においては、強い経済を実現するための経済財政政策を推進し、雇用・所得環境の改善を図ってまいりました。しかし、地方にその恩恵が及ぶ前に世界的な景気の低迷などにより、強い経済実現に不安を残す状況が続いております。

また、少子高齢化という構造的な問題に真剣に取組むことにより、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる「一億総活躍社会」の実現に向けた取組みや、地方創生の実現に向けた対策、TPP関連など喫緊の重要課題への対応に関して、今年度政府予算案にその対策費が盛り込まれたところであります。村としては、国の予算や政策を注視し、次の3つを柱として、施策の優先順位を踏まえ適切に対処してまいります。

基本方針

「産業の振興」

私は、本村の基幹産業は農業と観光産業との思いのもと、これまで足腰の強い農業振興や肘折温泉を核とした観光業の振興に意を傾注してまいりました。国の制度を活用しながら新規就農者への総合支援事業に意を配した取り組みを展開した結果、若者を中心に新規就農者も徐々に増加しております。今後も継続して独自の補助制度を設け、生産施設の整備等を支援してまいります。

▲200名を超える外国人を受け入れた月山ジオパーク構想インバウンドツアー（H28.2月～3月）

水田農業の省力化による農業振興を目指した圃場整備事業も順調に推移し、一部畑地化した圃場では大規模なトマト団地も形成されました。今後は、計画地区での圃場整備が予定通りに進捗できるよう、村としてもなお一層支援してまいります。

一方、農業所得の向上を目指すとき、農商工連携した6次産業化を強力に推進する必要性を痛感しております。村として、公設民営型の加工施設を設置し、村の特産品の開発とともに雇用の場の確保に努めます。同時に、個々による6次産業の実践者に対しても、可能な支援を実施することにしております。

肘折温泉を核とした本村の観光産業は、27年度において、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、地域での消費喚起を目的とした「ふるさと旅行券」の発行事業や月山ジオパーク推進協議会と連携したインバウンド事業の実施など、過去最大規模の観光振興を実施し、一部に回復傾向を感じられるようになってまいりました。この機を逃すことなく、村としても更なる観光誘客に傾注していかなければならないと考えます。さらに、昨年実施した若者ミーティングで出されたアイデアの具現化にも万全を期す所存でございます。

「子育て支援」

私は、村の元気を創出するためには、ある程度の人口を確保し続ける必要があると考えます。

村では、結婚相談所の拡充や新庄中核工業団地に進出する企業などを対象とした雇用拡大に向けた補助制度を充実し、本村住民を優先して雇用していただけるような施策の取り組みを強化しております。さらに、国の地方創生事業の活用や地方版総合戦略に掲げる事業の確実な実施に傾注してまいります。

教育の充実による人づくりも、子育て支援の重要な要素となっております。学校教育の充実と併せ、村営学習塾「おおくら未来塾」の継続により学力の向上を図りながら、楽しく学びあう環境の整備を進めてまいります。なお、今年度から山形県と共同で「若者定着奨学金返還支援事業」を実施いたします。村の奨学金についても返還支援事業の対象として拡充し、次世代を担う子どもたちの夢の実現を支援してまいります。

また、地域づくりの中心となる若い方々の視察研修を継続し、視野の広い担い手の育成に努めるとともに、各世代の住民が誰でも・どこでも・手軽に自己啓発できるような環境整備にも努力してまいります。

「安心・安全な地域づくり」

安心・安全な地域づくりは、定住促進の上でも重要な要素であります。

道路整備については、これまでスクールバスが安全に通行できる道路確保を優先して実施してまいりました。今後は、より生活しやすい道路整備を視野に入れ、生活環境の整備につながる事業展開を模索してまいります。また、平成29年3月末をもって肘折・新庄線を廃止したいと山交バス株式会社より申し入れがございます。今後、村民皆様方の通院・通学・買物等の足をどのような形で確保すべきかを充分に検討し、暮らし易さの向上に努めてまいります。

ここ数年、全国的に梅雨前線による豪雨や台風による土砂災害、地震災害が多発し、改めて自然災害の恐ろしさを痛感しております。村では、これまでも防災行政無線の改修や四ヶ村地区への防災拠点施設を整備し、情報の速やかな伝達手段を確保しておりますが、自助、共助の観点から、住民同士の助け合いを促す自主防災組織の充実とともに、自治消防団の再編も含めて設備更新など機能強化にも意を配してまいります。

おわりに

昨年開催した若者ミーティングでは多様な意見・アイデアをいただき、それをもとに大蔵村の総合戦略を策定しました。また、同年10月末に策定した村の人口ビジョンでは、45年後の2060年の本村の人口を2,000人程度で安定させるとの目標を掲げております。この目標達成のため、希望出生率2.1と若者を中心とした社会減少2割程度の改善を目指し、総合戦略に掲げた施策を私が先頭に立って確実に実施してまいります。

さらに、新庄最上定住自立圏構想などを通じて、最上地域8市町村が協力して地域の活性化を図るとともに、再生可能エネルギーの導入や生活環境の整備、診療所を核とした医療環境の充実といった課題についても、その解決に向け実践し地方自治の究極の目標である、総合的な住民福祉の向上に努めてまいります。

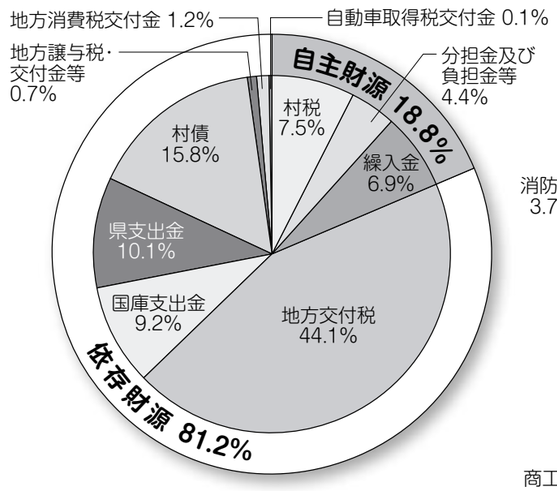
平成28年度 一般会計予算

39億9千万円

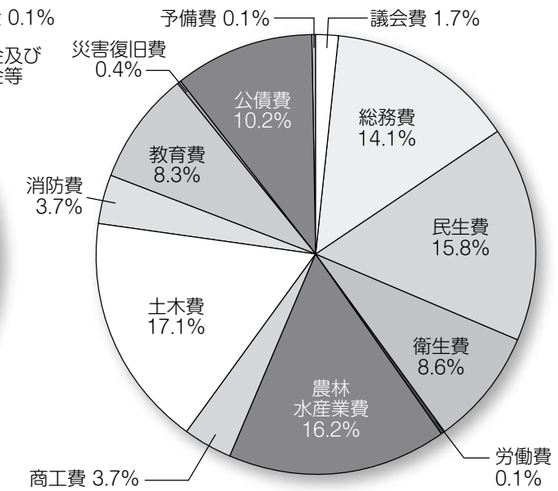
前年度比
3億2千万円増額
（+8.7%）

一般会計

歳入構成比



目的別歳出構成比



特別会計

会計名	本年度	前年度	増減率(%)
国民健康保険特別会計	5億5,100万円	5億2,330万円	5.3
簡易水道事業特別会計	1億8,700万円	1億5,000万円	24.7
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億5,890万円	1億6,450万円	△ 3.4
へき地診療所特別会計	2億2,800万円	2億3,800万円	△ 4.2
介護保険特別会計	3億9,770万円	3億7,830万円	5.1
浄化槽整備事業特別会計	2,977万円	3,460万円	△ 14.0
後期高齢者医療特別会計	3,220万円	3,020万円	6.6
特別会計合計	15億8,457万円	15億1,890万円	4.3

一般会計予算の約半分を地方交付税に依存しており、国の施策に左右されやすい厳しい状況下ではありますが、課税客体が極めて少ない本村では村税などの自主財源をできるだけ確保するよう努めています。さらに村の借入金である地方債や国からの交付金を有効に活用しています。

一方、村の実情に応じた自主的な財政運営を行うことができるよう内部的経費の削減をすすめ、効率的な行財政運営に努めてまいります。

一般会計

目的別の予算額と主な事業内容をお知らせします。

平成28年度当初予算については、「少子化対策と定住の促進」、「足腰の強い産業振興」「人づくり教育の充実」、「災害に強い安心・安全な村づくり」、「若者支援」の５つの重点項目に沿った予算編成を行いました。

―少子化対策と定住の促進―
- ◎中学生までの医療費無料化や各種予防接種に対する助成などの支援対策（継続）
- ◎若者の結婚を後押しする相談、縁結び奨励金事業（継続）
- ◎０歳児からの保育受入れや学童保育の実施による、子育てしやすく働きやすい環境づくり
- ◎適用条件拡充による保育所利用者の負担軽減

―足腰の強い産業振興―
- ◎ＪＡ山形もがみが実施する、夏秋トマト選果場等の拡張事業への補助
- ◎６次産業化の推進と農家の所得向上目指す、農産物加工施設整備事業
- ◎インバウンド事業の推進、各種ツアーの開発、ガイド育成を図る観光プロデューサー育成事業
- ◎地元の消費喚起を図るプレミアム付商品券発行事業

―人づくり教育の推進―
- ◎小中学生を対象とした村営塾の実施（継続）
- ◎小中学生を対象とした教育講演会（継続）
- ◎国内外の先進事例地に学ぶふるさと人材育成研修事業（継続）

―災害に強い安心・安全な村づくり―
- ◎村道里道線道路改良事業
- ◎肘折地区ロータリー除雪車更新事業
- ◎防災行政通信ネットワーク整備事業
- ◎銅山川水力発電事業による再生可能エネルギー利活用

―若者支援―
- ◎雇用促進のための資格取得助成事業
- ◎男女が対等にあらゆる分野で活躍するための「男女共同参画推進計画」の策定
- ◎肘折温泉街へのWi-Fiステーション整備事業
- ◎都市部の人材を受け入れ、地域力の維持・強化に繋げる地域おこし協力隊招聘事業業

総務費 564,990千円
―村の統括的事務や政策的事業などに使うお金―

広域行政の推進	24,358千円
銅山川水力発電事業出資金	93,100千円
村営バス購入事業	19,400千円
ふるさと人材育成事業	6,200千円
地域おこし協力隊招聘事業	4,333千円
結婚相談事業	1,400千円

民生費 631,695千円
―お年寄りや児童福祉などに使うお金―

障害福祉費	121,025千円
老人福祉費	90,856千円
児童手当	49,500千円
要援護者巡回事業	1,300千円

農林水産業費 646,691千円
―農業振興などに使うお金―

強い農業づくり交付金事業	204,370千円
農産物加工施設整備事業	74,000千円
戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金	45,963千円
中山間地域等直接支払交付金事業	43,825千円

衛生費 342,507千円
―保健衛生やゴミ処理などに使うお金―

へき地診療所運営費繰出金	75,700千円
広域行政の推進（環境衛生）	49,720千円
ゴミ収集事業	16,152千円

土木費 682,831千円
―道路整備や除雪などに使うお金―

村道除排雪対策事業	134,951千円
道路維持事業	86,200千円
村道里道線道路改良事業	45,000千円
橋梁長寿命化事業	41,600千円
住宅リフォーム総合支援事業	7,500千円

商工費 148,033千円
―商工業振興などに使うお金―

地域活性化促進事業	51,985千円
観光プロデューサー育成事業	8,619千円
プレミアム付商品券発行事業	4,250千円
観光防災Wi-Fiステーション設置事業	3,738千円

教育費 333,523千円
―学校教育・社会教育などに使うお金―

小・中学校管理運営費	84,784千円
スクールバス運行管理費	37,653千円
スクールバス購入事業	19,400千円
おおくら未来塾事業	3,500千円

消防費 146,646千円
―消防体制維持などに使うお金―

広域行政の推進（常備消防）	70,549千円
山形県防災行政通信ネットワーク整備事業	22,900千円
消防施設整備費	17,262千円

災害復旧費 15,607千円

豪雨や豪雪等による道路・農地等の災害復旧事業

平成27年度 自治功労者表彰式

～村の発展に貢献いただいた15名が受賞～

平成27年度自治功労者表彰式が3月15日（火）、役場庁舎会議室で行われ、村の発展にご尽力された次の方々が受賞されました。

表彰状受賞者

佐藤新作　統計調査員　20年7月
株式会社　加弘工務店　代表取締役　加藤愛子　事業資金寄附
村上美晴　ふるさと納税

感謝状受賞者

菅野熟　選挙管理委員　10年9月
小屋規雄　選挙管理委員　10年9月
伊藤元吉　選挙管理委員　10年9月
髙山衛　統計調査員　15年7月
佐藤勝　社会教育委員　15年9月
須藤修一　社会教育委員　15年9月
三原純　ふるさと納税
小林美枝子　保健衛生推進員　15年9月
八鍬咲子　保健衛生推進員　15年9月
大竹信男　文化財保護委員　15年9月
八鍬稔幸　スポーツ推進委員　15年9月
井渕安雄（※健康のつどい時贈呈）　健康づくり推進協議会委員　9年8月

お世話になります

平成28年4月1日現在

地区代表

（）内は世帯数

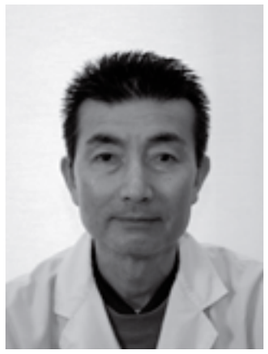
熊高矢口智（28）　大坪加藤勝義（41）
通り長南昭二（20）　塩柳渕伊藤冨士夫（6）
白須賀三條清美（88）　肘折早坂松一（104）
上竹野三條竹美（24）　金山菅野熟（16）
比良稲沢中島慎也（20）　鍵金野早坂智義（5）
藤田沢鈴木健一（19）　豊牧八鍬和夫（34）
桂柿崎昇司（18）　滝の沢佐藤忠良（13）
清水一佐藤要一（40）　沼の台中島照光（33）
清水二佐藤小三郎（46）　平林須藤孝（15）
清水三土屋徹（33）　赤松八鍬博（68）
清水台山科克巳（7）　烏川斉藤宗太郎（59）
合海小関忠雄（162）　升玉八鍬春雄（9）
作の巻国分政光（17）　季の里設楽靖弘（48）

農事代表

（）内は農家数

熊高矢口千代志（13）　塩柳渕早坂秀一（11）
通り國分孝一（5）　肘折早坂松一（27）
白須賀早坂淳一（37）　金山結城広行（9）
上竹野斉藤貞美（14）　鍵金野早坂敏雄（1）
比良稲沢国分啓一（11）　豊牧石川広二（32）
藤田沢鈴木求（14）　滝の沢門脇健次（15）
桂長南優治（14）　沼の台中島伝内（24）
清水海藤一利（27）　平林須藤正広（14）
合海斉藤徳美（45）　赤松三原源三郎（28）
作の巻安彦義勝（12）　烏川羽賀光弥（32）
大坪石川司（30）　升玉八鍬静雄（12）

固定資産評価審査委員会委員の選任について



任期満了に伴い、この度、皆川圭二さん（合海）が4月1日付で再任されました。

固定資産評価審査委員会委員は、中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の審査及び決定を行い、固定資産税の課税の公平を保つため、議会の同意を得て村長より選任されるもので、任期は3年となります。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

情報公開審査委員会委員の選任について

須藤　英光氏（平林）

松田　与市氏（合海）

山下　佳子氏（赤松）

任期満了に伴い、この度、須藤英光さん（平林）、松田与市さん（合海）、山下佳子さん（赤松）が、4月1日付で再任されました。

情報公開審査委員会委員は、行政文書の開示決定等に不服がある場合に、実施機関の諮問に応じて中立的な立場から内容を調査審議し答申を行うため、議会の同意を得て村長より選任されるもので、任期は4年となります。

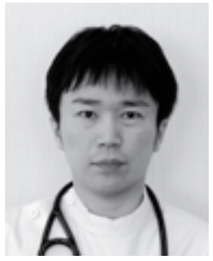
今後ともどうぞよろしくお願いします。

平成27年度スポーツ栄光賞受賞者

県及び全国大会や国際大会などで優秀な成績を収められた個人や団体に贈られるスポーツ栄光賞を、次の５名の方が受賞されました。

- **海藤　瑠緯**（清水二）（新庄北高等学校２年）
  第70回国民体育大会山形県予選会兼第42回東北総体体育大会予選会弓道競技　少年男子近的競技　男子団体優勝
- **高山ほのか**（白須賀）（米沢中央高等学校２年）
  平成27年度山形県高等学校新人大会バレーボール競技優勝
- **高山　　輝**（白須賀）（新庄養護学校高等部３年）
  第15回全国障害者スポーツ大会陸上競技　ソフトボール投げ優勝
- **片見　公亮**（烏　川）（新庄東高等学校３年）
  ＰＴＴスパニッシュオープン　ダブルス第３位
  第15回全国障害者スポーツ大会卓球競技準優勝
- **小野　莉奈**（比良稲沢）（福島大学３年）
  第68回山形県陸上選手権大会陸上競技　女子800m優勝
  第42回東北総合体育大会陸上競技　女子800m優勝
  第84回日本学生陸上競技対校選手権大会　女子800m6位入賞

診療所に渡邉祐介先生が着任



新しい医科医長に、渡邉祐介先生を4月1日からお迎えします。

渡邉先生は寒河江市のご出身で、自治医科大学をご卒業後、朝日町立病院、公立置賜総合病院に勤務されてきました。大蔵村におかれましても、診療所を拠点とした地域医療の発展にお力を発揮していただきますようよろしくお願いいたします。

また、長谷川佑介先生は、3月31日をもって離任されました。2年間ありがとうございました。

歩いてのばそう　健康寿命

～ 第36回　大蔵村健康のつどい ～

3月6日(日)、健康のつどいが中央公民館で開催されました。今年のスローガンは「歩いてのばそう　健康寿命」。いつまでも健康で住み慣れた地域で生活できることを健康寿命と言います。それを短くするのが病気や筋肉の衰えです。歩くことでからだを動かして健康寿命をのばし、みんなが生きいきと生活できる村の実現を目指していこうと、表彰式や健康づくり推進協議会委員による寸劇、講師を招いての講演会など様々な催しが行われました。講演では、不摂生な生活により患った糖尿病や心筋梗塞の病をとおして学んだこととして、健康でいることは大切な人を安心させ笑顔にする。健診を疎(うと)んじず、受診して自分の体の状態を把握しながら、体の不具合と上手に付き合っていくことが人生を楽しく生きることの秘訣であるといったお話があり、会場に集った約480人もの皆さんは熱心に聞き入っていました。また、大蔵村で増えつつあるメタボや糖尿病を予防するために、食事の量を摂りすぎないこと、適度に運動することなど、皆で健康づくりについて再確認していました。

むし歯がひとつも無かった口腔衛生優秀者の皆さんです

○三歳児の部

佐藤　大翔(合　海)加藤　明咲(合　海)
斉藤　咲人(上竹野)門脇　実柚(季の里)
小林　楓太(合　海)加藤　優生(合　海)
矢作　門夢(合　海)柴田　咲蒔(季の里)
斉藤　凜愛(清水二)髙橋　輝(合　海)
伊藤　葉月(合　海)信田　若葉(合　海)
大竹　好誠(白須賀)中島　咲羽(肘　折)
國分　虹都(通　り)五十嵐永翔(赤　松)
佐藤　琉斗(合　海)矢口　陽彩(季の里)
須藤　煌大(烏　川)平山　大智(合　海)
丹　來結(合　海)羽賀　楓真(肘　折)
山下　優菜(合　海)

○就学時の部

佐藤　知世(清水台)稲村　優真(合　海)
國分　紗羽(通　り)小屋　榛(清水三)
伊藤　結空(柳　渕)矢作　汐織(清水二)
斉藤　珀斗(烏　川)佐藤　心位(合　海)
柿崎　航太(赤　松)伊藤　幸歩(合　海)
小野　陽葵(合　海)斉藤　優(合　海)
須藤　聖琳(合　海)加藤　魁莉(大　坪)
中島　羽翼(豊　牧)阿部　麻央(清水二)
加藤さくら(白須賀)

○中学生の部

早坂　莉野(季の里)庄司　悠馬(合　海)
山川　幹太(上竹野)笹原　彩葉(肘　折)
半田　恵菜(合　海)柿崎　衣舞(　塩　)
矢口　瑞基(熊　高)小野貫太郎(清水二)
佐藤　歩武(藤田沢)加藤　崇悠(白須賀)
林　亮太(上竹野)大竹　涼(烏　川)

○三歳児口腔衛生優秀者の保護者

矢作　亜紀(合　海)柴田　歩(季の里)
斉藤　美香(清水二)大竹　真紀(白須賀)
中島　未来(肘　折)國分　留美(通　り)
佐藤ひかり(合　海)矢口　美香(季の里)
須藤　唯(烏　川)

▲講師は俳優の渡辺徹さん。健康づくりとして、奥さんの郁恵さんとウォーキングを楽しまれているそうです

▲かっこいい踊りで会場を盛り上げてくれた保育所の子どもたち

▲お馴染み！荒川たごさくじい＆伊藤なみへいさんの名演技も光ります

大蔵村消防団の組織再編について

消防団員を取り巻く現状

平成27年度現在、２８１名の消防団員の皆さんが、火災や災害から村民の生命・財産を守るため防災活動を行っております。しかし、少子高齢化の影響により、団員として入団する若年層が減少しており、現役団員の負担が増大していることや、団員の職業構成のほとんどが被雇用者（サラリーマン）であるため勤務地が村内から離れていることなど、消防団員を取り巻く情勢は極めて厳しいものとなってきました。

また、各分団・各部の団員数については地域によってかなりのばらつきがあり、部の運営及び車両等の運用、管理について支障が出る状況も見受けられました。

組織再編に向けての検討

大蔵村消防団では、それらの状況を勘案し、平成24年度から効率的な組織体制を確立するため、各分団・各部の統合を視野にいれた組織の再編について、検討を継続的に行ってきました。

平成25年度以降、各分団からの意見聴取や、幹部の分団訪問などにより意見のとりまとめを行い、既定の7分団制から4分団制への再編、分団再編に伴う各部・各班の見直し、管轄エリア拡大に対応するため副分団長階級の新設などを提起し、平成27年度11月開催の幹部会で、4分団制での再編案が承認されました。

大蔵村消防団長に早坂恭一さんが再任

平成28年3月31日をもって任期満了となりました大蔵村消防団長に、4月1日付けで早坂恭一さん（白須賀）が再任されました。

平成28年度大蔵村消防団幹部を組織図とともに紹介します。

大蔵村消防団組織図

副団長　須藤　敏彦
副団長　髙田　修

団長：早坂恭一
副団長：須藤敏彦、髙田　修
本部付分団長：八鍬　茂、佐藤和男、芦原孝幸、中島博登志、大竹清彦

分団	部	部員数	班	班員	地区	人数
第1分団長 中島俊信 副分団長 佐藤秀樹	第1部長 海藤敏文	60 / 33	第1班長	田中正春	清水	11
			第2班長	八鍬紀男	清水	13
			第3班長	早坂光政	大坪	8
	第2部長 伊藤貴之	25	第1班長	信田周一	合海	13
			第2班長	信田耕平	合海	11
第2分団長 早坂　学 副分団長 柿崎勝吉	第1部長 早坂健司	57 / 30	第1班長	早坂直彦	白須賀	11
			第2班長	早坂和洋	白須賀	11
			第3班長	早坂貴志	上竹野	7
	第2部長 鈴木　浩	25	第1班長	佐藤陽一	藤田沢・桂・作の巻	16
			第2班長	柿崎直樹	比良・稲沢	8
第3分団長 片見真司 副分団長 矢口政昭	第1部長 柿崎　博	68 / 40	第1班長	三原伸也	赤松	10
			第2班長	八鍬　弘	赤松	10
			第3班長	國分　武	通り	7
			第4班長	八鍬充教	烏川	12
	第2部長 林多栄美	26	第1班長	荒沢　淳	熊高	9
			第2班長	小関孝雄	塩	12
			第3班長	八鍬清一	升玉・柳渕	4
第4分団長 田中　保 副分団長 中島康二	第1部長 中島秀幸	71 / 28	第1班長	中島照光	沼の台・平林	14
			第2班長	長南慎一	豊牧・滝の沢	13
	第2部長 横山勇悦	41	第1班長	大友久士	肘折	8
			第2班長	柿崎邦彦	肘折	8
			第3班長	羽賀浩人	肘折	8
			第4班長	長南宗典	肘折	8
			第5班長	斉藤和孝	肘折・金山	8

平成28年度大蔵村消防団団員数264名（平成28.4.1現在）
（※数字は所属団員数です。）

大蔵村まち・ひと・しごと創生
総合戦略を策定しました

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

現在、大蔵村だけでなく山形県、国全体においても、人口減少や超高齢化社会が急速に進んでいます。また、地方から都市部への人口流出が続き、地方の過疎化も問題となっています。

そこで国では、

①地方における安定した雇用を創出する

②地方への新しいひとの流れをつくる

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

以上の４つを基本目標とした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

それを受け、大蔵村でも「大蔵村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとなり、村長を本部長とする「大蔵村総合戦略本部」を設置しました。また、幅広い意見を集約するため、産学官金労、各分野の代表からなる「大蔵村総合戦略有識者会議」においてご意見をいただきました。

総合戦略の策定にあたり、次世代の担い手となる若者の意見を取り入れようと、20～30歳代の村民でつくるワーキングチーム「若者ミーティング」を組織し、若い方々の意見を総合戦略に活かすこととしました。さらに、村民の皆さんからご協力いただいたアンケート調査で寄せられたご意見を反映させ、策定をいたしました。

職業や地区を越えて若者世代が集い、村の未来を語り合いました

総合戦略の構成について

大蔵村まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間は、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年とし、総合戦略には、国の基本目標に沿った村における具体的施策と各施策のＫＰＩ（重要業績評価指標）を示しています。

総合戦略の４つの基本目標

国が示した政策４分野ごとに、実現すべき5年後の基本目標として次の４点を設定しました。

①生業創出と既存産業強化による地域創生戦略

②日本で最も美しい村の地域資源活用による地域創生戦略

③女性や子育て世代が活躍できる地域創生戦略

④生活のしやすい環境を確保する地域創生戦略

これら基本目標ごとに目標値を掲げるとともに、具体的な施策ごとに、その効果を客観的に検証できる指標ＫＰＩを設定しています。

政策を確実・効果的に実行するために

村総合戦略の効果を確実に発揮するため、毎年、「総合戦略有識者会議」においてＫＰＩによる検証作業を行います。これにより、計画・実行・評価・改善のＰＤＣＡサイクル（４段階の活動を繰り返し行なうことで、継続的に手順を改善していく手法）を構築し、総合戦略の確実な実行とともに、人口ビジョンで掲げた２０６０年の村の人口２０００人台の確保を目指します。

村の未来を考える若者世代の動きに注目！

総合戦略の策定にあわせ組織された若者ミーティングは、村のよりよい未来の実現のため必要なことは何か、自分たちができることは何かを今後も考えていこうと、行政の手を離れ、自主的に話し合い等の活動を継続しています。

実際に村の未来を担っていく若者世代から、色々な形で、実践的な村づくりのアイデアが出てくることを期待しながら、活動をあたたかく見守りたいと思います。また、一緒に活動してくれる新たな仲間も募集しておりますので、参加を希望される方は、総務課政策推進係までご連絡ください。

基本目標１

生業創出と既存産業強化による地域創生戦略

《基本方向》

1．農・畜産業、観光業、新規産業の強化による地域経済の活性化
2．次世代産業の育成支援による地域経済の発展
3．６次産業化による地域ブランドの創出と雇用の増進
4．若者のネットワーク促進
5．イベントと交流による多様な人材の誘引
6．自立できる地域社会への転換

施策１ 稼げる農・畜産業等のための支援

施策２ 稼げる観光産業のための支援

施策３ 多様な「しごと」環境の創出支援

施策４ 新産業による地域の自立創出支援

◎具体的施策

農業後継者等自立支援、農業教育の実施、農業就労支援、農産加工施設整備、異業種間連携による６次産業化構築、観光施設整備、観光体験型メニューの充実、インバウンド受入れに向けたセミナー開催、起業家の育成・ＮＰＯ設立支援、奨学金返還支援制度、小水力発電所の整備など３０施策

基本目標２

日本で最も美しい村の地域資源活用による地域創生戦略

《基本方向》

1．日本で最も美しい村連合としてブランド形成および交流と学びを強化
2．次世代の子どもたちへの愛郷心と「しごと」教育
3．若者の人材育成および世代間交流

施策１ 日本で最も美しい村教育の充実・支援

施策２ 人材育成および交流等の支援

◎具体的施策

地域活性化推進事業、ふるさと人材育成事業、企業人招聘による人材育成支援、雇用促進補助事業、生涯学習センター整備など１２施策

基本目標３

女性や子育て世代が活躍できる地域創生戦略

《基本方向》

1．結婚・出産・子育て・子育て後の就労に至るまでの女性ライフの充実
2．若者ミーティングの充実・自信と責任を持てる舞台創出

施策１ 子育て世代や若者の呼び込み支援

施策２ 移住・定住支援

◎具体的施策

子育て支援住宅整備、誕生祝い金等子育て支援、不妊治療支援、住宅リフォーム総合支援、定住団地整備、結婚サポート、保育料軽減のための基準緩和など１７施策

基本目標４

生活のしやすい環境を確保する地域創生戦略

《基本方向》

1．いつまでも快適に暮らしていけるように村民が支え合う雪国づくりを推進
2．行財政改革と効果の向上

施策１ 快適な生活環境創出支援

施策２ 行財政機能の効率化推進

◎具体的施策

公衆無線ＬＡＮ整備、雪に強い村づくり、公共交通網の整備、新庄最上定住自立圏連携事業の推進など１６施策

問合せ・・・・・総務課政策推進係　☎７５－２１１１（内線２１４）
※「大蔵村まち・ひと・しごと総合戦略」の内容については、村のＨＰに掲載しております。

大蔵村職員 人事異動と職員執行体制

4月1日付で、村職員人事異動が次のように行われました。よろしくお願いします。（（ ）内は前任）

〈昇　任〉

総務課危機管理室長兼危機対策係長　佐藤　利男
（教育委員会教育次長補佐）

住民税務課課長補佐　鳴海由紀子
（産業振興課商工観光主査）

健康福祉課課長補佐兼健康衛生係長　佐藤　克也
（産業振興課農村整備係長）

産業振興課農地主査兼農地係長　井上　英樹
（産業振興課農地係長）

教育委員会教育総務主査兼教育総務係長　早坂　健司
（教育委員会教育総務係長）

肘折保育所長兼沼の台保育所長　小内　仁美
（大蔵村保育所主任保育士）

総務課政策推進係長　早坂　直彦
（住民税務課主任）

産業振興課農村整備係長　早坂　和洋
（教育委員会主任）

診療所看護係長　大竹　弘美
（診療所主任看護師）

診療所歯科衛生係長　齊藤　恵子
（診療所主任歯科衛生士）

健康福祉課主事　海藤　俊輔
（健康福祉課主事補）

地域整備課主事　横山　鳳夫
（地域整備課主事補）

教育委員会主事　福本有希子
（教育委員会主事補）

〈異　動〉

会計管理者兼出納係長　髙橋　清蔵
（議会事務局長）

産業振興課課長補佐　長南　正寿
（地域整備課課長補佐）

地域整備課課長補佐　小野　秀司
（健康福祉課課長補佐）

健康福祉課付係長係長（大蔵村社会福祉協議会派遣）　井上　沙織
（総務課政策推進係長）

健康福祉課主事　五十嵐千絵
（産業振興課主事）

大蔵村保育所用務員兼調理師　国分真理子
（大蔵中学校調理師）

〈出　向〉

議会事務局長　矢口真二郎
（総務課危機管理室長兼危機対策係長）

教育委員会教育次長補佐　東谷　英真
（健康福祉課健康衛生主査兼健康衛生係長）

教育委員会主任　信田　祐作
（住民税務課主任）

大蔵中学校調理師　小屋こづえ
（大蔵村保育所用務員兼調理師）

〈新　採〉

平成28年4月1日付
産業振興課主事補　後藤　和也
住民税務課主事補　斎藤　健一

〈退　職〉

平成28年3月31日付
八鍬　君佳
（会計管理者兼出納係長）
八鍬　雪子
（肘折保育所長兼沼の台保育所長）

新規採用職員を紹介します

後藤　和也
年齢：23歳
趣味：ソフトテニス

大蔵村の魅力を多くの人に伝えられるよう、一生懸命頑張ります。村民の皆様に頼っていただけるような職員になれるよう努力してまいりますので、よろしくお願いします。

斎藤　健一
年齢：18歳
趣味：スポーツ

大蔵村の一職員として、全力で常に村民の皆様一人ひとりのことを考えて仕事をしていきたいです。毎日のあいさつや笑顔をかかさず頑張りますので、よろしくお願いします。

村長 加藤正美　副村長 安彦加一　教育長 有馬眞裕

総務課

課長	南悦雄
政策推進主査	中島輝美
財政係長	佐藤信一
総務係長	岡部雅人
政策推進係長	早坂直彦
主任	伊藤浩司
主任	元木文恵
用務員	南はる

（危機管理室）

室長兼危機対策係長	佐藤利男
消防防災主査兼消防防災係長	若槻寛

地域整備課

課長	髙山和広
課長補佐	小野秀司
上下水道主査	八鍬泰一
上下水道係長	八鍬充教
建設係長	門脇毅
維持管理係長	早坂広行
主任	小林大輔
主事	横山鳳夫

議会事務局

事務局長	矢口真二郎

会計室

会計管理者兼出納係長	髙橋清蔵
主事	須田純

選挙管理委員会（兼任）

書記長	南悦雄
書記	中島輝美
書記	佐藤信一
書記	岡部雅人
書記	早坂直彦
書記	伊藤浩司
書記	元木文恵

監査委員事務局（兼任）

書記	矢口真二郎

固定資産税評価審査委員会（兼任）

書記	南悦雄

健康福祉課

課長	滝沢恒彦
課長補佐兼健康衛生係長	佐藤克也
福祉係長	八鍬弘
主任	今田智紀
主事	海藤俊輔
主事	五十嵐千絵
保健師	早坂八千代
保健師	八鍬和生
保健師	植木美緒
健康福祉課付係長（社会福祉協議会）	井上沙織

（大蔵村保育所）

保育所長	横山芳江
保育士	佐藤友美
保育士	髙橋陽子
保育士	八鍬美幸
調理師	加藤里美
調理師	國分愛子
調理師	笠原和代
用務員兼調理師	国分真理子

（肘折保育所）

保育所長	小内仁美
保育士	佐藤裕美
調理師	伊藤清美

（沼の台保育所）

（兼）保育所長	小内仁美
保育士	八鍬那奈
調理師	鈴木愛子

大蔵村診療所

診療所長	荒川光昭
歯科医長	伊藤充也
医科医長	渡邉祐介
事務長	早坂勇一
看護係長	大竹弘美
主任看護師	佐藤睦子
主任看護師	渡辺美津代
主任看護師	若槻和枝
歯科衛生係長	齊藤恵子
主任歯科技工士	竹田洋之
歯科医療事務員	小屋喜代子
歯科助手	鈴木二三子

住民税務課

課長	柏沢敏晴
課長補佐	鳴海由紀子
税務主査兼税務係長	田部井英俊
住民主査兼住民係長	羽賀明美
国保年金係長	三原伸也
主任	鈴木祐一
主事	佐藤寛子
主事	早坂優範
主事補	斎藤健一

教育委員会

教育次長	国分浩一
教育次長補佐	東谷英真
指導主幹	田中滋
生涯学習主査	八鍬博幸
教育総務主査兼教育総務係長	早坂健司
生涯学習係長	佐藤美輝
主任	信田祐作
主事	福本有希子

（大蔵村小学校）

調理師	佐藤ケイ子
調理師	田中二三代

（大蔵村中学校）

調理師	信田智恵子
調理師	小屋こづえ
用務員	志村敏子

産業振興課

課長	越後享
課長補佐	長南正寿
農地主査兼農地係長	井上英樹
農政係長	今井啓之
商工観光係長	齋藤祐介
農村整備係長	早坂和洋
主任	柴田浩充
主任	早坂洋大
主事	八鍬むつ美
主事補	後藤和也

農業委員会（兼任）

事務局長	越後享
農地主査兼農地係長	井上英樹

国民年金について

国民年金は、自分で働くことができる間にみんなで保険料を出し合い、自分で働いて収入を得ることができなくなる時に年金を受け取ることによって、生涯の生活を維持していこうという考えで作られた仕組みです。

日本国内に住所のある20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務付けられています。

年をとった時や病気やけがで障害が残った時などに、保険料を納めた期間に応じて年金を受け取ることができます。

問合せ　住民税務課　国保年金係　☎75－2103

種　別	第１号被保険者	第２号被保険者	第３号被保険者
対象者	第２号被保険者、第３号被保険者以外の人（例えば、農業等に従事する人、学生、無職の人など）	会社員や公務員など、厚生年金や共済年金に加入している人	第２号被保険者に扶養されている配偶者
保険料の納付方法	納付書や口座振替などによって、自分で納付します。 平成２８年４月～平成２９年３月までの保険料額は、**月額１６，２６０**円です。納付期限は、納付対象月の翌月末です。（例えば、平成２８年４月分の保険料であれば、平成２８年５月３１日が納付期限になります。）また、複数月分まとめて納付すると割引が受けられる前納制度や保険料の納付が困難な人向けに免除・猶予制度もあります。	給料から天引きされた本人負担分と事業主負担分を合わせて勤め先が納付します。（自分で納付する必要はありません）	扶養している配偶者の勤め先が納付します。（自分で納付する必要はありません）
取得・喪失・変更の届出方法	大蔵村住民税務課国保年金係にて、本人またはご家族が届出してください。	勤め先が届出します。	扶養している配偶者の勤め先が届出します。
	※就職や退職、結婚などで国民年金種別が変わったら、その都度届出が必要ですので、忘れずに手続きしてください。 **届出の際に必要なもの**　印鑑、保険証、年金手帳、社会保険・厚生年金資格喪失連絡票など資格喪失日のわかる書類など		

家族と別居する学生の国民健康保険被保険者証について

国民健康保険は本来、住民票のある市区町村で加入しますが、就学のため住民票を村外に移し家族と別居する学生も、引き続き大蔵村の国民健康保険を利用できる特例があります。この特例を利用する学生に対しては、学生用の被保険者証が交付されます。手続きと必要な書類は次のとおりです。

①転出の届出を役場の窓口で行う。

・必要なもの…①印鑑②新しい住所地がわかるもの

②学生用被保険者証の申請をする。

・必要なもの…①印鑑②新しい住所地がわかるもの③学校の名称と所在地がわかるもの④平成28年4月1日以降発行の在学証明書

【注意事項】

有効期限は一般の被保険者証と同じ、8月31日までとなります。

在学中は、毎年4月に在学証明書の提出が必要です。年度の途中で、退学等の事由により学生でなくなった場合は資格がなくなりますので、速やかに住民税務課国保年金係（☎75－2103）に申し出て、被保険者証を返還してください。

ホットニュース
—WARMHEARTED REPORT—

木材を使って加工体験に挑戦！

２月16日（火）、大蔵小学校5･6年生の児童62名が参加して、赤松生涯学習センターにおいて木材の加工体験が行われました。これは、やまがた緑環境税を活用し森林学習の一環として実施したものです。最上広域森林組合の職員を講師に、森林が占める面積や木の種類などを学習した後、のこぎりや彫刻刀を使い、自由に木材を組み立てることに挑戦しました。子どもたちは、大人顔負けの発想力で本棚や剣などのユニークな作品を完成させていました。

春を掘り出せ！地面出し競争World cup in 肘折

２月28日（日）、晴天の下、Oh！蔵SPORT主催による第７回地面出し競争World cup in 肘折が肘折生涯学習センターグラウンドを会場に開催されました。これは、いかに早く雪を掘って地面を出すかを競うもので、今年は外国人留学生を含む過去最高の41チーム258名が参加し、積雪242cmの重く硬くなった雪に苦戦しながらも熱い闘いを繰り広げました。結果は、地元の「LOVE SNOW」チームが４分55秒の好タイムで３連覇を達成。会場には声援が飛び交い、次々に土を掘り出したチームの歓声で沸き上がっていました。

美しい村をつくる美しいひとづくりを学ぶ

３月５日（土）、美しい村づくり講演会が役場で開催されました。秋田県東成瀬村より学力日本一の村に押し上げた第一人者である鶴飼孝教育長を講師に迎え、子どもの成長と地域社会の関わり方について、約50名の参加者と学び合いました。「地域のふれあいを原点に学びの輪を広げることが子どもたちにやり直しのできる底力や学力をつけ、故郷を思う心が育った人づくりに繋がる。」との話がありました。

肘折で待ってるよ！おおくら君22世完成

３月17日（木）、肘折いでゆ館前の広場に作られた巨大雪だるま「おおくら君」の完成式が行われました。お披露目された22代目のおおくら君は、高さ12.13m、ウエスト82mの大きさで、3000トンもの雪が製作に使われました。トマトの帽子とボタンをあしらったおおくら君は、早坂亜美さん（大蔵中１年）がデザインしたものです。完成式では、肘折・沼の台両保育所の子どもたちが案内看板を除幕して、完成を祝いました。

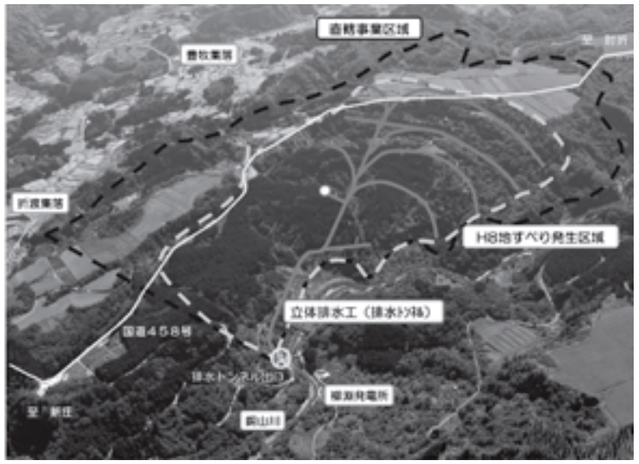
銅山川地区地すべり防止事業　山形森林管理署最上支署だより①

「地域の安全・安心をいつまでも」

約一万年前の噴火によりできた肘折カルデラと周辺に厚く堆積した「シラス層」。その地層は脆弱ゆえ地すべり災害が頻発してきました。私たちの生活を守るため行われている大規模な地すべり防止事業について、計8回のシリーズでお伝えします。

山形森林管理署最上支署では、平成4年度から大蔵村大字南山の湯ノ台地域で、銅山川地区地すべり防止事業を実施しています。

大蔵村では、梅雨期や融雪期に度々地すべりが発生していましたが、特に平成8年5月に発生した大規模な地すべりは、被害面積が130haに及びました。肘折温泉に通じる国道458号の通行止めや、周辺の農地・林地でも亀裂や陥没が発生し、地域住民の生活や経済活動に大きな影響を与えました。

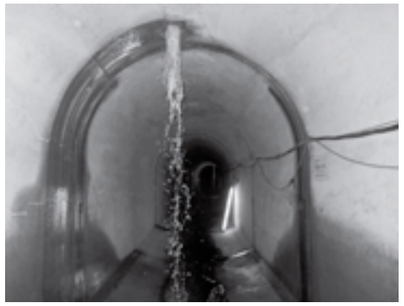


▲事業区域となる銅山川地区の空撮写真。直轄事業区域は328haにおよびます。

「地すべり」とは、山地などの広い斜面全体が、地面の上にある木や建物などをのせたまま、ゆっくりと斜面の下の方に押し寄せていく現象です。その土地の地質や、降雨量・地下水位、地形などの自然条件が重なり発生します。

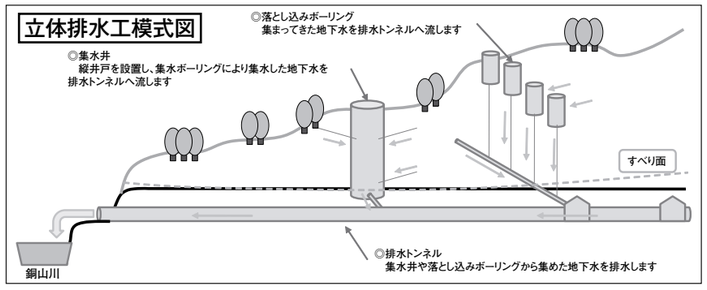
大蔵村の地表面の地質は、水を含むと脆く崩れやすい火山堆積物「シラス層」で厚く覆われています。また、年間を通じて降水量が多く豪雪地帯であり、春先から初夏にかけての長期間、多量の雪溶け「水」が地下にしみ込みます。そのため、「シラス層」が大量の「水」を含み、地下水位が異常に上昇することが、地すべり発生の誘因となっていました。

このような地すべりの構造は、地下水の排除が最も効果的です。地上から「落し込みボーリング」により穴のあいた直径10cmの管を100m以上埋め込み、地下の「排水トンネル」へ人為的に通水させます。「排水トンネル」は地下150mにあり、幅3m・高さ3mのかまぼこ型の水路で、現在は1分間に4t近くの地下水を排水しています。


▲排水トンネル内部写真。「落し込みボーリング」から地下水がトンネルに流れ出ます。

トンネルは、平成8年から現在まで5，045km完成しており、平成30年までに5，815km延伸させる工事の真っ最中です。

対策工事の実施により、地すべり活動が治まり、道路や公共施設・農地等が保全されます。当支署では、地すべり防止事業を通じて、地域の安全・安心な生活の確保に努めています。



問合せ　山形森林管理署最上支署（治山グループ）　☎0233-62-2122

―月山ジオパーク構想 コラム―①

雪・風・大地のおそれとめぐみ

月山周辺の鶴岡市、庄内町、西川町、大蔵村、戸沢村と協力して取り組んでいる「月山ジオパーク構想」。今年秋の日本ジオパーク認定を目指しています。

今月号より、認定に向けた活動や各地域の見どころなど、月山ジオパーク構想についての理解を深めていただけるような情報をお届けしていきます。

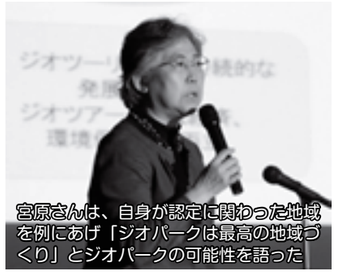
ジオツアーを通じて地域の魅力を再確認

3月19日(土)、2月末から行われたインバウンドジオツアーの実施結果を検証し、今後の活動に活かすための月山ジオツアーフォーラムが、西川町交流センターで開催されました。3部構成で行われ、関係者約100名が参加しました。

第1部では、ツアー催行を委託した株式会社近畿日本ツーリスト東北の担当者からツアー全体の評価や参加者からの感想などが報告され、月山ジオパークにおける「豪雪」や「おもてなしの心」が、旅行商品として大きな武器になることが確認されました。また、ツアーの受け入れを行ったガイドの皆さんからは、受け入れを通じて再確認した地域の魅力などが語られました。

第2部では、宮城大学事業構想部教授の宮原育子さん（高畠町）から「月山ジオパークの意義と可能性」と題して激励講演をいただきました。日本ジオパーク委員会委員としても活躍される宮原さんは、認定に向けた具体的な整備のポイントなどを解説。その中で「三山信仰は月山ジオパークの大きな魅力。信仰という大地と人の関わりを分かりやすく伝えられること、併せて月山の良さを体感できるジオツアーの開拓が求められます」といったアドバイスをいただきました。講演後には5市町村の首長によるパネルディスカッションが行われ、各地域が持つ魅力やジオパークの持つ意義などについて語り合い、最後に固く手を取り合い活動推進への決意を新たにしました。

第3部の総会では、平成27年度の活動報告や平成28年度の事業計画が示され、4月の申請書提出など今後の具体的な活動について確認されました。


宮原さんは、自身が認定に関わった地域を例にあげ「ジオパークは最高の地域づくり」とジオパークの可能性を語った

読んであげたい今月の一冊に

絵本とお話の会●フレデリック

「チキチキチキチキチキいそいでいそいで」

文 角野栄子
絵 荒井良二

コウくんは、ものおきで古いうでどけいをみつけました。

ねじをまいてうでにはめると、時計はコッチリポッチリとうごきはじめ、コウくんもコッチリポッチリと動いてしまいました。次の日のあさ、うでどけいはチキチキと早い音をたててうごきはじめてしまいました。コウくんもチキチキうごき、つられておかあさんも、おとうさんもチキチキ、まちじゅうのみんながチキチキチキチキ。

のんびりさんも、早口でよんでしまいそうな楽しいお話です。

※中央公民館で借りられます。
読み聞かせ時間「5分」。

～名古屋便2便化記念～

名古屋便運賃を助成します!

村民の皆様（村内勤務者、村外居住の村民の家族・親戚等含）が「山形名古屋便」をご利用いただいた場合、助成を行います。

対象期間　平成28年3月27日(日)～4月30日(土)搭乗分
※助成数に限りがあります

助成額　往復5,000円
（片道利用の場合は2,500円）
※往復2席分とし、お一人様最大4席まで

申込方法
①**事前申込**：ご利用日より前に、総務課へ電話やメール等でお申込みください。「助成金交付申請書」をお渡しします。
②**搭　乗**：各自でご予約、お支払いのうえ、名古屋便をご利用ください。
③**申　請**：搭乗後、「助成金交付申込書」に搭乗券または搭乗案内（原本）を添付して、総務課へご申請ください。
④**支　給**：後日、「山形空港利用拡大推進協議会」から助成金が支払われます。

問合せ　総務課政策推進係☎75-2111（内線213）

INFORMATION

受講生募集　中国語講座

◎**日時**　毎週月曜　18:00から
　※4/11(月)18:00から開講式
◎**場所**　山形新聞最北総支社
◎**講師**　保科秀艶氏
◎**受講料**　月額2,000円
問　最上地区国際交流協会・三原
☎22-3580

第6師団創立54周年・神町駐屯地創立60周年記念行事

◎**日時**　4/17(日)8:00～14:00
◎**場所**　陸上自衛隊神町駐屯地
◎**内容**　観閲式、観閲行進、戦闘訓練展示、体験搭乗　ほか
問　陸上自衛隊第６師団司令部広報室
☎0237-48-1151(内線5374)

NTT東日本の電話帳の配達と回収について

NTT東日本では、4月中に順次、新しい電話帳を各家庭や事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は配達時に回収しますので、配達員へお渡しください。不在時で配達員に古い電話帳を渡せなかった場合は、後日改めて回収に伺いますのでご連絡お願いします。
問　タウンページセンタ
☎0120-506309

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆さまへ

消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならない規定となっています。未だ、写真の書換えをされていない方は、速やかに手続きをお願いします。
問　(一財)消防試験研究センター山形県支部☎023-631-0761

山形県警察就職ガイダンス2016

◎**日時**　4/29(金)
　①10:00～ 女性限定ガイダンス
　②13:00～ 全体ガイダンス
◎**会場**　山形県警察学校
◎**内容**　①女性警察官による講話、フリートーク等
　②採用関係説明、警察学校説明、各部門の業務説明、若手警察官との対話会等
◎**対象者**　山形県警察官Ａ採用試験、山形県職員(警察行政・大卒程度)採用試験受験を考えている方及びその家族
◎**定員**　①50名　②100名
◎**申込方法**　電話、インターネット(※詳細は山形県警察本部HPを参照ください。)
◎**締切日**　4/27(水)
申問　県警察本部警務課人事係
☎023-625-0871

山形県警察官(A・B区分)募集

◎**受験資格**　年齢(区分共通)
　S56.4/2～H11.4/1生れ
◎**応募資格**
　A：学校教育法による大学卒業者(同等と認められる者、H29.3までに卒業見込含)
　B：A以外の方
◎**受付期間**
　A：4/5(火)～5/16(月)
　B：7/29(金)～8/29(月)
※受験案内、申込書は新庄警察署、駅前交番、各駐在所で受け取ることができます。
問　新庄警察署警務課☎22-0110

平成28年度の健康保険料率が変わります

全国健康保険協会山形支部の健康保険料率が、平成28年3月分(4月納付分)より現行の9.97%から10.00%に改定されます。

この改定により増加する負担額の目安は、月収24万円の場合で月額36円、月収40万円の場合は月額60円の増になります。なお、介護保険料は、1.58%のまま据え置きとなり、介護保険第2号被保険者(40～64歳までの方)の保険料率は、健康保険料と介護保険料を合わせて11.58%になります。
問　全国健康保険協会山形支部
☎023-629-7226

「大蔵村住宅リフォーム補助制度」のお知らせ

次の5分野のいずれか一つを含むリフォームで、村内又は県内業者施工の工事を補助対象とします。

- 部分補強(耐震化)
- 省エネ化　・克雪化
- バリアフリー化
- 県産木材の利用

詳しくは問い合わせください。
問　役場地域整備課維持管理係
☎75-2102

夜間・休日応急診療所

新庄市保健センター内に開設
新庄市夜間休日診療所
●**診療科目**　内科・小児科　☎29-6300
●**診療時間**
夜間診療【月～土曜】19時～21時30分
休日診療【日曜・祝日・12／31～1／3】9時～17時
●**問合せ先**
新庄市健康課健康推進室
☎22-2111

3月の日誌

5日(土)　●美しい村づくり講演会
6日(日)　●第36回健康のつどい
8日(火)～11日(金)　●3月定例議会
15日(火)　●行政相談
16日(水)　●大蔵村自治功労者表彰式
18日(金)　●大蔵中学校卒業式
19日(土)　●大蔵小学校卒業式
24日(木)　●おおくら雪ものがたり
25日(金)　●肘折保育所卒園式
27日(日)　●沼の台保育所卒園式
29日(火)　●肘折春スキー大会
　●大蔵村保育所卒園式

4月の予定

4日(月)　●大蔵村保育所入園式
5日(火)　●肘折保育所入園式
6日(水)　●沼の台保育所入園式
7日(木)　●大蔵小学校入学式
8日(金)　●大蔵中学校入学式
19日(火)　●行政相談
20日(水)　●地区代表者会議
22日(金)　●農事代表者会議
29日(金)　●大蔵中学校運動会

年金生活者等支援臨時福祉給付金のお知らせ

賃金引上げの恩恵が及びにくい所得の少ない高齢者の方を支援するために実施するものです。

● 支給対象者

平成２８年度中に６５歳以上(昭和２７年４月１日以前生まれ)になる住民税(平成２７年度分)非課税の方
※ただし、課税されている方に扶養されている方・生活保護制度の被保護者となっている場合の方は対象となりません。

● 支給額

支給対象者１人につき３万円

● 申請方法

対象者には、健康福祉課から申請書が送付されますので、必要事項を記入の上、受付期間内までに提出してください。
申請先は、平成２７年１月１日時点で住民票がある市町村です。

● 受付期間

平成２８年７月１日(金)まで。忘れずに申請ください。

振り込め詐欺に注意してください！

- 大蔵村や厚生労働省などがＡＴＭの操作をお願いすることは絶対にありません！
- ＡＴＭを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にできません！
- 大蔵村や厚生労働省などがそれぞれの手当を支給するために、手数料などの振込みを求めることは絶対にありません！

問合せ・提出先　健康福祉課福祉係　☎75－2104(内線274)

村営バスの時刻表改正について

平成28年４月１日より、村営バスの次の路線の時刻表を改正しました。山交バス「新庄→肘折」線の最終便との接続を考慮したものです。お勤め先や病院、高校からの帰宅時など、ご利用ください。

山交バス	県立病院前発	新庄駅前発	清水発
新庄→肘折行	18:05	18:10	18:35

村営バス	清水発	
① 清水作の巻線	18:45	―→ 路線集落へ
② 清水大坪線	18:45	―→ 路線集落へ
③ 清水烏川線	18:45	―→ 路線集落へ

※山交バスが清水バス停に18：35到着。村営バスは清水バス停を18：45に出発し、３路線を運行します。

問合せ　総務課政策推進係　☎75－2111(内線213)

戸籍の窓

(2月16日～3月15日届出分)

お誕生おめでとう

地区	お名前	(保護者名)
合海	信田　陽翔(はると)くん	(周一)

お悔み申し上げます

地区	お名前(年齢)	世帯主
沼の台	三原　勲(71)	勲
清水二	鈴木　清治(74)	清治
烏川	須藤　政治(93)	政太郎
豊牧	中島ヨシエ(92)	幸一

○届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

世帯数	1,094戸		(1,097戸)
人口	3,500人		(3,581人)
男	1,716人		(1,753人)
女	1,784人		(1,828人)
出生	男 0人	女 0人	計 0人
死亡	1人	1人	2人
転入	2人	4人	6人
転出	2人	6人	8人

※平成28年2月末現在　(　)内は昨年同期

おおくらっ子 写真館

このコーナーでは、村内のこどもを紹介しています。
ご親戚、お友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！

★すきなもの
ミルクティーとラプンツェル

（合海）岩渕綺音（あやね）ちゃん
（渉）

★すきなもの
ラムネとプリキュア

（合海）山下優菜（ゆな）ちゃん
（貴幸）

おおくらくんがみつけた むらのみっどごおもしぇどごー

今月の「みっどごー、おもしぇどごー」

③ 巨大な雪だるま

3月のある日。天気がいいので、肘折いでゆ館の前をお散歩していたら、ぼくに似てる雪だるまを発見！おっきいなぁ。

見て見て。この大きさ！
高さ 12.13m、おなか回り 82m、体重は３０００トンもあるんだって！とけて消えちゃう日を当てるクイズもあったよ。
ちょっとかなしいなあ。。。

おおくら君の隣には、おおきなすべり台があったよ。みんなもおおくら君に会いにきてね！

名前は「おおくら君」。毎年この時期に誕生していて、22世なんだって。村長さん、議長さん、保育所のおともだちと記念写真を撮ったよ。

編集と発行●山形県最上郡大蔵村役場総務課　電話(0233)75－2111
ホームページ 大蔵村 検索 URL http://www.vill.ohkura.yamagata.jp/
メールアドレス info@vill.ohkura.yamagata.jp